

文化部会

手話コーラスで慰問

たるみグループホームの敬老会 福 8 - 文 山下 春美

たるみグループホームからの要請で、9月9日の敬老会に出演しました。私たち手話コーラス同好会では、ホームの皆さんとご家族も一緒にご覧になるとのことでしたので、選曲に悩みました。

そこで皆んで相談して「夕焼け小焼け」で日が暮れた後、空に「見上げてごらんよの星を」と星に願いをこめて、春・夏・秋・冬「四季の歌」とシナリオを考えました。

はじめに、手話で「ごあいさつ」をし、曲の合間に簡単な日常会話を手話

解説（ありがとう、こんにちは、父、母）などしますと、興味を持って一生懸命に手を動かして下さり、段々と興にのるにつれて、関連する言葉表現するだけで、答えが返ってくる嬉しい場面もありました。

デイサービスの方々が「ふるさと」を少し練習しはじめているということで、最後に「ふるさと」をみなさんと一緒にしました。

「手」の表現で「うさぎ」が「いぬ」に変身する一どのように「ふるさと」を表現しているか？・・・など解説すると、みなさん納得し、うなずいておられたのが印象的でした。私たちが目指している「共に参加する手話コーラス」に一步一步近づいていることを感じて、ボランティアをする楽しさを見つけれています。



車椅子の介護に緊張する わ の 会 員

先生方は交代で馬になるが大変な重労働です。続いて大きな風船を頭上に持ち上げて運ぶ風船送りをして楽しんだ。2班に分かれての競技であり、子供達も真剣になって頑張った。しかし風船は勝手に横へ飛んでしまう。皆さんには難しい遊びになったようだ。

疲れたので暫く休憩する事になった。私は彼と2人で車椅子で館内を見て回った。会話は無いが、彼の名は「大ちゃん」だと判った。「大ちゃん」と呼べば振り向いて笑ってくれた。

その後、みんな揃って昼食です。子供達は一泊の予定で、3時過ぎから先生達の子供達をお風呂に入れる。体格のいい子をお風呂に入れるのには先生も大変です。しかし先生方の子供達への愛情と、気配りには頭が下がります。

私たちのボランティア終了の間には、みんな食堂に集まって、児童の代表からお礼の挨拶があった。言葉を探しながら精一杯の挨拶に感動した。私達もこみ上げてくる気持ちを抑えながら、再会を約した挨拶をした。

澄んだ目、時には怯えた表情をする子達ながら精一杯生きている子供達に幸せのくる事を祈りたい。私の貴重なボランティア体験でした。



手話コーラスの手ほどきを受けながら楽しむお年寄り達

福祉部会

障害者介助に参加して

先生達の愛情と気配りに感激 美 8 - 福 松本 治司

私が初めて体験する障害者介助の日、6月22日は生憎の雨でした。垂水養護学校の小学生25名を乗せた大型バス2台が、しあわせの村の「あおぞら」に到着した。先生方が降ろす荷物の中から児童達が車椅子で降りてきた。小学生である。みんな不安そうな顔で、バスのスロープを車椅子で降りて来た。私たちの紹介もそこに、

先生方から「子供達の所へ行ってください」と声が掛かった。

いよいよボランティアの開始である。緊張する一瞬である。不安な気持ちで児童の車椅子のレバーを握った。その子は振り向いて私の顔を見てにこりと笑った。私も笑顔で「こんにちは」と挨拶をした。

今日のスケジュールは野外での遊戯だったが、雨のため急きょ変更された。教室で先生が弾くギターにあわせてみんな3曲を歌った。次に歩けない児童達を、先生が背中に乗せてハイハイの遊び。